

営業で使える
打合せで使える

!

風水建築士がこっそり教える
風水トーク集



にほんの住まいを心地よく。
一般社団法人
日本風水建築協会

にほんの住まいを心地よく。
一般社団法人
日本風水建築協会

<http://fusui-kk.jp/>

Be
useful

風水は迷信か？ 占いか？

POINT



風水では、方位や間取りも大切ですが
自分の住環境のお手入れも大切です

風水というと、黄色い財布や極端な間取りの推奨などばかりが
取り上げられがちですが、実は誰でも簡単に風水の対策ができることがあります。

それは「朝の換気」と「清掃」です。当たり前すぎて、
「なーんだ」と思いがちですが、効果が高い風水対策の一つです。

風水では「悪い気」は風で流し、「良い気」は水で留めると考えます。
「悪い気」は寝ている間に身体から排出されます。
ほこりやチリのように「悪い気」は重たいので部屋の下にたまります。

「たまった悪い気」を流すために、毎朝数分間でよいので
寝室の窓を開けて風が流れるよう換気することをおススメしています。

朝、新鮮な空気を取り入れるとすっきりとした気分にもなれます。
気分上げるための習慣を生活に取り入れることも立派な風水対策の一つです。

TALK
5

朝の換気と掃除は、寝ている間にたまった 部屋の「悪い気」を追い出します

はじめに

私も設計士時代、風水は迷信だ感じていました

私と風水の出会いは、建築士として独立を考えていた20代の頃でした。建築士としては、風水とは、設計する上では何かと制約のかかる迷信で、根拠のない言い伝えであり、面倒なものだと思っていました。

しかし、学問としての風水に出会い、風水とは占いや迷信ではなく、都市創りにも応用された環境学であり、人々の生活に良くも悪くも大きな影響を与えるということが理解できるようになりました。

そもそも風水とは「地理風水」の略で科学に近い学問です。風水ブームなどもあり、たくさんの情報があふれていますが、大半の人が持っている知識は本来の風水からは遠くかけ離れているのが実情です。

「家相」で必要以上に不安を感じるお施主さんがいらっしゃいますが、風水には家相不安が払拭できる対策の知恵が詰まっています。今回、お客様との会話集はよくある「あるある」を集めてみました。是非、お客様との会話でお試ください。



一般社団法人日本風水建築協会
理事長 井上馨一郎

navi

お客様との会話に役立つ風水

POINT



風水では、人の年回りを見るのではなく
環境が人に与える影響を大切にします

風水の立場から申し上げますと、タイミングの影響だけで
住んでいる人が不幸になるという考え方はしません。

「風水でも方位とタイミングを大事にしますが、個人を見るのではなく、
土地・方位・間取り・周辺環境など、環境が人に良い影響を与えるタイミングを
大切に、それぞれのプラス作用・マイナス作用の影響を総合的に見ます。

前頁ご紹介したように「マイナスをプラスへ」という柔軟性を持った対策や
プラスに作用に転じる、吉方位を活かした引っ越し方法とタイミングを更に
提案できると「建てどき」はコントロールすることができます

目次



建てたい時が建てどきです。

TALK.1	風水のはじまり	P5
TALK.2	鬼門・裏鬼門の話	P7
TALK.3	トイレは鬼門・裏鬼門はNG?	P9
TALK.4	建てたい時が建てどきです	P11
TALK.5	朝の換気で「悪い気」を追い出します	P13

TALK
1

風水は統治者の知恵として 発展してきましたものなんですよ



技術進歩で従来の家相の考え方 対策は変わってきます

鬼門・裏鬼門にトイレ・水回りが来るのを嫌った理由は
不浄なモノが土地に触れるという考えた方でした。

昔の時代と違って、住宅の性能・機能は向上しています。
トイレは水洗化していますし、キッチンも進化しています。
家相の見方も時代によって変わってきます。現代風水では
その用途によって見方を変えていきます。

家相が普及し始めた江戸時代と違って、現在のトイレは水洗なので
不浄（土地を汚す）という観点では見ないことを伝えることで
間取りに対する不安を払拭することができます。

TALK
3

昔と違って現代では、「鬼門・裏鬼門」に
トイレが来ても大丈夫です。

POINT



風水の歴史的背景を語ることは
雑談・雑学として有効です。

風水の起源は約4,000年前、日本がまだ縄文時代だった黄河文明の時代、
食料を安定確保するため水田稲作を始めました。

稲を育てるには2つの条件を満たした土地が必要でした。
ひとつは安定した水の確保ができる、作物が育つ肥沃な土地。
また、人の暮らしや文明も川の周辺、水のある場所で発展してきました。

ふたつ目は、稲が強風で倒されない風の強くない土地。
この二つが稲作をする上でとても大切で、そのキーワードが、「風」と「水」。
それが所以で風水と呼ばれるようになりました。

土地を治める統治者は住民が豊かな生活を送れるようにと、
安定した収穫を願う環境を見極める風水を活用するようになり
より発展させてきました。

TALK
2

風水では「鬼門・裏鬼門」を
凶方と考えないんですよ

POINT



風水と家相は似てるようで違います
間取りに柔軟性があるのが
風水の特徴です

家相と風水の考え方が入り混じっている様子の方が結構多いです。
下記図のように、家相と風水は違います。

家相で問題が生じてしまうと「間取り変更」がつい、よぎってしまいがちですが
「マイナス要素をプラスに転じる対策を打つ」ことでプラン変更することなく、
お施主様の不安の払拭を行えることは、風水が持つ特徴の一つである「柔軟
性」であると思います。「柔軟性のある対処」が家相と風水の違いです

< 風水と家相の比較 >

	家相	風水
歴史	江戸時代以降大衆化したもの。	風水の起源は約4,000年前(黄河文明)。 弥生時代に稲作と一緒に日本へ。
鬼門 裏鬼門	鬼門・裏鬼門に「玄関」 「台所、浴室」「便所」を 置くのは凶と考える	風水では「良い変化」「悪い変化」を もたらす方位としてとらえる。 そもそも、鬼門・裏鬼門を凶方とは考えない。
考え方	間取り、方位から良い・悪い。 吉凶の要素を判断する。	大地や周辺環境のエネルギーを借りながら 室内の風水調整（コンディショニング作用）で マイナス要素をプラスに転じる対策を打つ。
対策	間取り変更。	間取りを変えずに、コンディショニング・アイテムで マイナス要素をプラスに転じる対処 ※コンディショニング・アイテム例 観葉植物・サボテン・花・水槽・音・水晶など